

マイナンバーあるある

「社会保障に関係ある」と
いわれても
どういうことなんだろう…



マイナちゃん、
「社会保障」って
どんなものを指すの？



「社会保障」とは、何か事情があつて困っている人の負担を、社会全体で手助けする仕組みのことで、例えば、高齢者や障害を持つ人に給付して、安心して暮らせるようにする「年金制度」がそうだね。

また、社会保障は大人だけでなく、中学生のキミたちにも関係があるんです。子供たちが健やかに育つことができるように、保護者に支給する「児童手当」も社会保障制度のひとつですよ。



「社会保障」と
マイナンバーは
どんな関係があるの？



マイナンバーによって、本人を特定しやすくなるので、手続きがより正確にできるようになります。そのため、必要としている人に正しく給付できるようになりますし、手続きにかかる時間も短縮できます。それに、不正受給の防止にも役立つんですよ。



「社会保障」は、国民が安心して生活できるようにする仕組み

国民が病気やケガ、老化、失業など何らかの事情により、困っている人の負担を、社会全体で手助けをする仕組みのことを「社会保障」といいます。社会保障の身近な例としては以下のものが挙げられます。

社会保障の例

健康保険	年金	雇用保険	児童福祉
病気やケガなどの際に、自己負担を軽くして、医療を受けやすくします。	高齢者や障害者に、安心して暮らせるための年金を給付します。	会社の倒産などで仕事を失った人や育児、介護のため休業中に給付を行います。	子供が健やかに育つことができるよう、児童手当の給付や保育園、認定こども園の確保などを行います。

税を正確に集め、公平に使えるようにする



なるほどね!

税とは、みんなが生活に必要な公共サービス(警察・消防や、道路・水道の整備といった「みんなのために役立つ活動」や、年金・医療・福祉・教育など「社会での助け合いのための活動」)を受けるための費用を、国民全員で分担して支払うものです。

会社に勤めている人は、会社が給料の中から税金を差し引いて、国(税務署)や自治体に納めます。また、個人でお店などを経営している人は、毎年、自分で税務署に申告して納めます。

マイナンバー制度導入後、税務署などでは、会社や個人から提出された書類*2などから得られた税に関する情報について、これまでの氏名・住所等に加えて、ひとりにひとつのマイナンバーで結びつけられることにより、それらの情報がより確認しやすくなるので、正確に税を集められるようになります。こうして集められた税が、私たちの生活に密着した公共サービスに使われます。

災害時にもマイナンバーを活用

自然災害や大事故が起こったとき、国や自治体が行うさまざまな活動を災害対策といいます。これまでは「避難所にどんな人がいるのか」がわかりづらく、確認するのに時間や人手を必要としていましたが、マイナンバーを活用することによって避難している人の数や性別、年齢が把握しやすくなるので、困っている人に対して、きめ細かな支援ができるようになります。



*2 例えば、①法定調書や②確定申告書です。
①法定調書とは、法律の規定により税務署に提出が義務づけられている資料です。(例：給料を支払った会社が、その支払を受けた人や金額などを記載し、作成する「給与所得の源泉徴収票」など)
②確定申告書とは、個人でお店を営んでいる人などが、1年間の所得金額や税金を自分で計算して税務署に申告するとき作成する申告書です。